

< J Aバンク中央アカデミー >
全国研修のご案内 (No.1730)

企業診断実践研修

～ 企業の総合的企業診断、業界特性、事業性評価手法を身に付ける講座 ～

- 取引先に対する総合的企業診断、業界特性、診断手法を学び、かつクラスワークにより実践力を身に付けたい方。
- 信連等の企業融資担当者で一定の融資業務のご経験を有する方のご受講をお奨めします。

○ 日 程 (4日間)

2024年3月12日(火) 13:20～15日(金) 15:40 (オンライン研修)

○ 開催方法

ウェブ会議システム「Webex」によるオンライン研修

○ オンライン研修に関する留意事項

- ① 農林中央金庫が配付した iPad 端末等、ウェブ会議システム「Webex」が安定して利用できる機器(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信環境の良い会場をご準備ください。
- ② ウェブ会議システムによるオンライン研修の性格上、回線トラブル・操作トラブル等の不具合が発生する可能性があることをあらかじめご了承のうえ、お申込みください。
- ③ 本研修は、ウェブ会議システム上でのグループワークを予定していますので、極力、受講者毎に1端末で受講してください。(1端末で複数名の受講の場合は、他地域とのグループワークができない場合がありますので、ご注意ください。)

○ 研修のねらい（こんな時）

信連等が地域金融機関としての役割を發揮していくためには、それぞれの融資担当者が取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に評価し、融資等への対応を行っていくことが重要です。

本研修では、取引先企業の経営実態を総合的に把握、診断するための企業診断手法の基礎的な理論や技法、日常の営業活動を通じた企業の見方にかかるノウハウおよび財務会計、管理会計の知識、業界特性を踏まえた事業性評価や知的資産経営について、講義に加えてケーススタディやクラスワーク等を交え、習得していただくことをねらいとしています。

○ 想定する受講対象者

信連等の企業融資担当職員で1年以上の企業融資業務経験者(もしくは同等の知識を有する職員)または財務3級程度の知識保有を目指している方

○ 研修の骨格（考え方）

冒頭で、企業診断のベースとなる①企業経営の診断理論の概要について説明のうえ、順次、②経営者のリーダーシップ、③会計、財務分析手法、④業界特性、⑤資金繰り管理の重要性、⑥事業性評価、⑦知的資産経営等について、ケーススタディを交えつつ、学んでいただきます。

○ 講師からのメッセージ

金融機関職員の取引先に対する目利き力が求められています。

取引先を金融機関の中から見ると、外から見るとは大きな違いがあったことを講師である私も思い出します。この違いは、私が銀行員であったときには、経営から取引先を見る意識、知識が不足していたからだと思っています。

当講座受講により、基本的な知識をしっかりと身に付けていただき、目利き力強化の一步として活かしてください。

○ 申込期限

2月2日（金）までに所定の方法でお申込みください。

以 上